

エコプロ 2019 同時開催 国際セミナー

「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」

“Current Status of Green Public Procurement and Eco-labelling in the world”

気候変動、海洋プラスチックごみなどの環境問題に世界中の関心が集まっています。このような世界的な潮流を背景に、国際機関や各国が協力してグリーン公共調達（以下、GPP）を活用した政策に積極的に取り組んでおり、そのなかで環境ラベルは、要求される環境基準を満たしていることを示す目印としてGPPに広く活用されています。一方、国際市場において求められる環境基準に適合する製品開発はスタンダードになりつつあるものの、必要な情報の収集を課題に挙げる日本の事業者も多く、日本製品の国際展開にとって無視できない障壁となりかねません。日本の優れた環境技術は大きな強みであり、これを最大限に活用することで国際展開を拡大し、大きなビジネスチャンスとすることができます。そのため、製品及びサービスの海外展開に関心がある国内の企業及びステークホルダーに対する情報支援を目的に、GPPと環境ラベルの海外専門家を招聘してGPP制度や環境規制に関する最新情報について講演いただくセミナーを開催します。

本セミナーでは、今後の経済成長が見込まれる ASEAN において GPP と環境ラベル制度支援のプロジェクトを実施しているドイツ国際協力公社（GIZ）のほか、建設分野において環境ラベルの関心が高いオセアニアからグッド環境チョイスオーストラリア、「サーキュラー・エコノミー」をはじめとする環境政策において GPP の存在感が増している欧州から TCO Development、そして北米をはじめ世界各国の GPP に活用されている電子機器等の環境評価ツール「EPEAT」の海外専門家を招き、各国・地域の最新動向を詳しく解説していただきます。

概要

日時：2019年12月5日（木） 13:00-16:00
会場：東京ビッグサイト 会議棟 6階 607・608 会議室
〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1
URL: <http://www.bigsight.jp/access/transportation/>
主催：環境省、（公財）日本環境協会
費用：無料
定員：200名（事前申込制・先着順）
言語：英語（日英の同時通訳あり）

申込方法

参加料無料、事前申込制（先着順）となっております。参加を御希望の方は、以下の申込みフォームより登録をお願いします。 <https://www.ecomark.jp/info/event/entry/>

申込受付の処理が完了し次第、参加証として申込受付のメールを返信いたします。参加申込は、定員に達し次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ】

（公財）日本環境協会 エコマーク事務局 事業推進課
電話:03-5829-6286 FAX: 03-5829-6281 E-mail: eco-seminar@japan.email.ne.jp
セミナー案内ページ
URL: https://www.ecomark.jp/info/event/seminar_ecopro2019.html

プログラム プログラムは予告なく変更される場合があります。

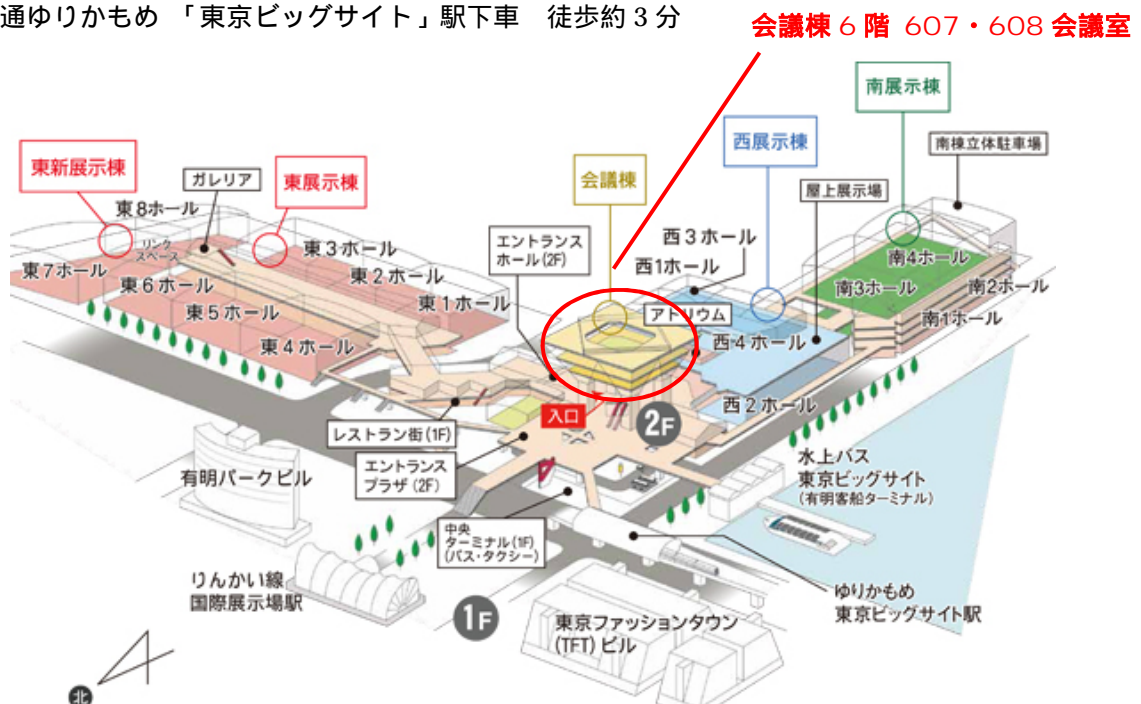
- 13:00-13:05 開会の挨拶
- 13:05-13:20 **[話題提供]**
『世界のグリーン公共調達と環境ラベルの概要』(エコマーク事務局)
- [世界のグリーン公共調達と環境ラベルに関する優良事例と最新動向]**
- 13:20-13:55 講演 『東南アジアにおけるグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向』
Ms. Kanchanatetee Vasuvat (ドイツ国際協力公社 (GIZ))
- 13:55-14:30 講演 『オーストラリアのグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向』
Ms. Kate Harris (グッド環境チョイスオーストラリア (GECA))
- 14:30-14:45 **[休憩]**
- 14:45-15:20 講演 『スウェーデンのグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向』
Ms. Clare Hobby (TCO Development)
- 15:20-15:55 講演 『EPEAT とアメリカのグリーン公共調達』
Ms. Nancy Gillis (Green Electronics Council (GEC))
- 15:55-16:00 閉会

アクセス

東京ビッグサイト

東京都江東区有明 3-11-1 URL: <http://www.bigsight.jp/access/transportation/>

- りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分
- 新交通ゆりかもめ「東京ビッグサイト」駅下車 徒歩約3分



講演者のプロフィール



Ms. Kanchanatetee Vasuvat, Project Manager of Advance SCP and Regional Coordinator of SCP Outreach in Asia – The Next Five, *Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (GIZ) GmbH* (ドイツ国際協力公社 *Advance SCP* プロジェクトマネージャー兼 *SCP Outreach in Asia* プロジェクト地域コーディネーター)

2012年、GIZ入社。GPP及び環境ラベルに関するタイ-ドイツの二カ国プロジェクトに3年間従事したのち、現在は対象国をインドネシア、マレーシア、フィリピンに拡大したAdvance SCPプロジェクトのプロジェクトマネージャーを務めている。また、ブータン、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナム等の新興国におけるGPP及び環境ラベルに関する政策やツールの開発支援を目的としたプロジェクトSCP Outreach in Asiaにも地域コーディネーターとして携わっている。



Ms. Kate Harris, *CEO, Good Environment Choice Australia (GECA)* (グッド環境チョイスオーストラリア CEO)

グッド環境チョイスオーストラリア (GECA) のCEOを務めるKate Harris氏は、持続可能性に資する事業課題の解決に向けたトレーニングやキャパシティビルディングに積極的に取り組んでいる。さらに、Living Institute of Australia (LIFA)、Australian Life Cycle Assessment Society などの副会長、Australian Sustainable Built Environment Council (ASBEC)及び世界エコラベリング・ネットワーク (GEN) の役員も務めている。



Ms. Clare Hobby, Director, Purchaser Engagement Global, *TCO Development* (TCO Development 調達グローバルエンゲージメント ディレクタ)

Clare Hobby氏は、IT機器の持続可能性を評価する認証制度であるTCO Developmentの調達に関するグローバルエンゲージメントを担当し、調達担当者の持続可能な取組の実施をサポートしているほか、国連環境計画 (UNEP) や Clean Electronics Production Network (CEPN)、Sustainable Purchasing Leadership Council (SPLC)などの国際機関が主導するイニシアチブにも積極的に携わっている。




Ms. Nancy Gillis, *CEO, Green Electronics Council*, (グリーンエレクトロニクスカウンシル CEO)

2016年3月、GECのCEOに就任。公共および民間部門の双方において、持続可能性を活用した競争力の向上やリスク管理、イノベーションの促進に関する専門家として20年以上の経験を有する。GECのCEO就任以前には、米国連邦政府の調達機関である米国連邦調達庁 (GSA) において、連邦政府調達における持続可能性に係る基準と環境ラベルの導入と活用促進を担う連邦サプライチェーン事務所の担当責任者を務めたほか、国際的監査法人で総合コンサルティング会社であるアーンスト・アンド・ヤング社 (EY) にてFortune 100企業に対する持続可能な調達マネジメントや責任あるサプライチェーン構築を支援するグローバルリーダーを務めた経歴を持つ。

EcoPro2019
12月5日6時7分
東京ビッグサイト101-101

話題提供

世界のグリーン公共調達と 環境ラベルの概要



2019年12月5日(木)
エコプロ2019同時開催国際セミナー
「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」
会場：東京ビッグサイト607-608会議室
(公財)日本環境協会 エコマーク事務局

1

EcoPro2019
12月5日6時7分
東京ビッグサイト101-101

1, グリーン公共調達(GPP)について

- ◆ 公共調達規模: GDPの約12%(OECD加盟国)、20~30% (発展途上国)
- ◆ この政府機関の大きな購買力を用いて、環境物品等を優先的に購入することで、需要面から環境物品等の市場形成、開発促進を目指す

日本では

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」
(日本 グリーン購入法、平成12年法律第100号)

2

EcoPro2019
12月5日6時7分
東京ビッグサイト101-101

2, GPP/ SPPの国際的普及の動き


- **10YFP SPPプログラム(UNEP)**
UN Environment(旧:UNEP)が事務局として主導する「持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み(10YFP)」の採択プログラムの一つ。持続可能な消費と生産のシフトを加速させ、グリーン経済や持続可能な発展を支える手段として「持続可能な公共調達(SPP)」を推進している。
- **Advance SCP, Next 5(GIZ:ドイツ国際協力公社)**
タイおよび東南アジアにおけるタイPI環境ラベルの発展・相互協力を推進するとともにタイのグリーン公共調達(GPP)を強化し、低炭素経済実現に向け、それぞれに気候変動基準を反映させることである。
- **EC(Switch Asia), APEC, ICLEI**など他の国際機関がGPP/SPP及びまたは環境ラベルのプログラムを展開

3

EcoPro2019
12月5日6時7分
東京ビッグサイト101-101

3, 環境ラベルとは・・・

「製品やサービスの環境側面について、製品や包装ラベル、製品説明書、技術報告、広告、広報などに書かれた文言、シンボル又は図形・図表を通じて購入者に伝達するもの」を幅広く指す用語



ECOLABEL INDEX 199国と地域、25産業分野において
少なくとも **463環境ラベル**
<http://www.ecolabelindex.com/> (2019年11月30日現在)

4